

4. 部会報告

I. サムライクラウド部会報告

サムライクラウド部会部会長
野元 恒志

これまでのおさらい

これまでの部会報告、CBA連携部会の報告から

- 企業間、団体間のID管理はそのまま、SSO環境は作れないか？(IDフェデレーション)
- CBAとNCWGでIDフェデレーションの環境を作成し、技術検証をする



サムライクラウドの更なる昇華



IDフェデレーションの実証実験
+
DS、SAMLの検証(クラウド事業者間相互認証)

Cloud Application Desktopとは

- IDフェデレーション、DS連携の研究を行う中で、下記の問題点を改善することを検討しました。
- 同時に技術的なチャレンジ要素として、WebSocketの様なオープン技術を用いて、サーバー間によるサーバー→クライアント方向の接続によるセキュリティ向上の可能性を模索しました
 - SP設置の設定難易度
 - SP設置のコスト(労力だけでなく、署名証明書など)
 - SP運用のセキュリティ面

Cloud Application Desktop として
統合環境をPaaS化することで諸問題を解決！

Cloud Application Desktop

ユーザー

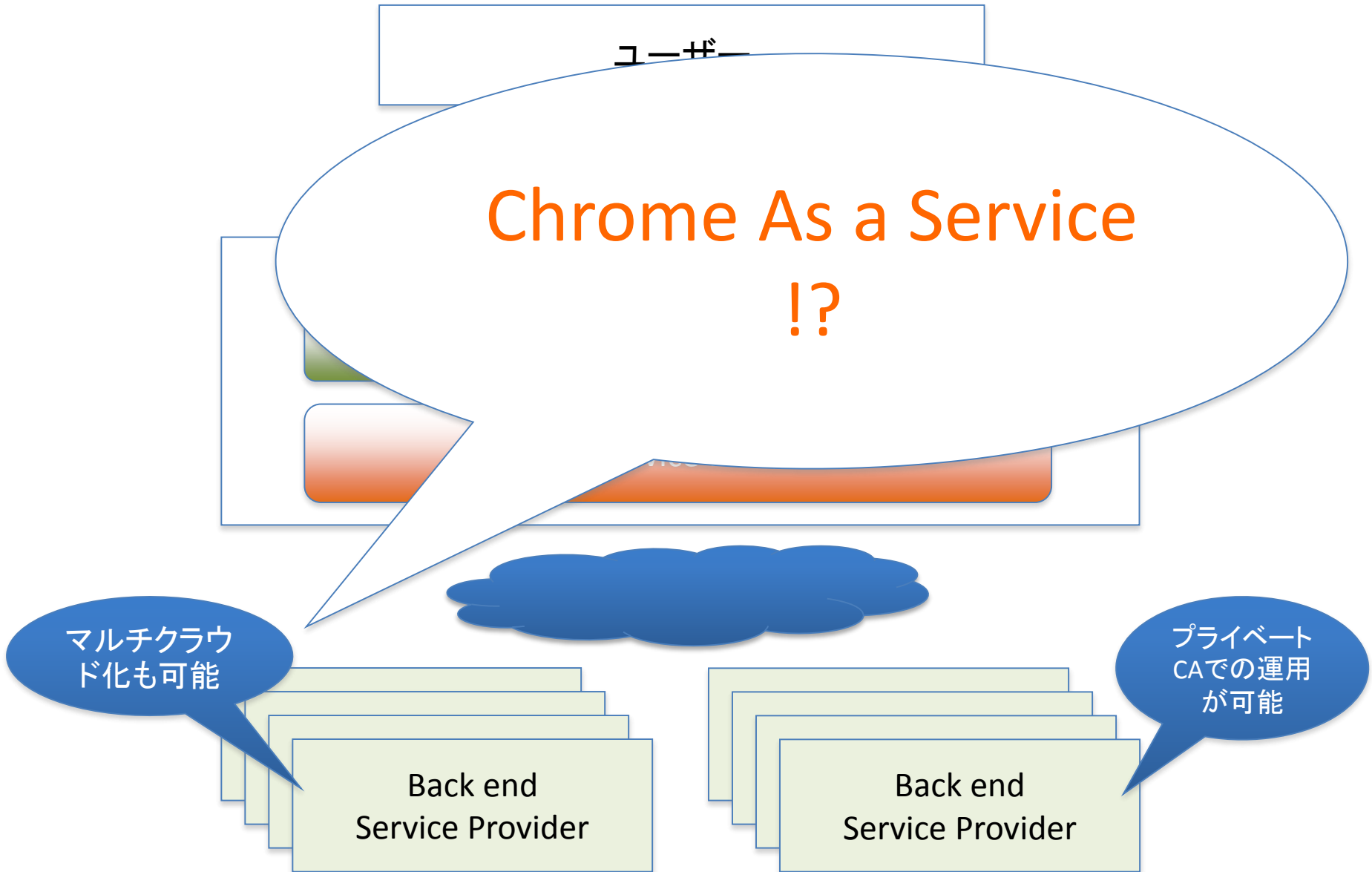
Chrome As a Service
!?

マルチクラウド
ド化も可能

Back end
Service Provider

Back end
Service Provider

プライベート
CAでの運用
が可能



Chrome As a Service

ユーザー



Cloud Application Desktop

認証

ポータル

ワークフロー

Cloud Service Bus (CSB)

ガジェットアプリケーションが登録可能なCADをサービスとして提供

資源、予算に乏しい市町村等の自治体、中小企業が最小限のコストで、使用可能



Chrome PC を Backendとして使用

紙から抜け切れていない、災害情報ファックス、生活保護受給者情報等、自治体間で跨る情報共有を最小コストで実現

これから

- CBAとNCWGとの連携継続
- Cloud Application Desktop 具体化にあたっての検討
- OpenSocialガジェットハッカソンの継続
- サービスの利用を促進するようなテーマをフロント連携WGとして共同で行っていききたい
- セキュリティや一般WebサービスのAPIなどさらなる広範囲の議題についても論議していききたい。
- OpenSocialハッカソンの総括レポート作成中